



# 第105号

令和5年(2023年)

11月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

## 令和4年度の決算を審議

主な歳出と質疑・答弁・委員長報告 2～6p



第3回定例会

主な審議・補正予算 ——— 8～9p

ここが聞きたい! 一般質問 ——— 10～15p

常任委員会報告 ——— 16～18p

一部事務組合・陳情 ——— 19p

古賀市議会



写真: 秋の実りに感謝し、荘厳な雰囲気の中斎行された、五所八幡宮放生会。

決算  
総額

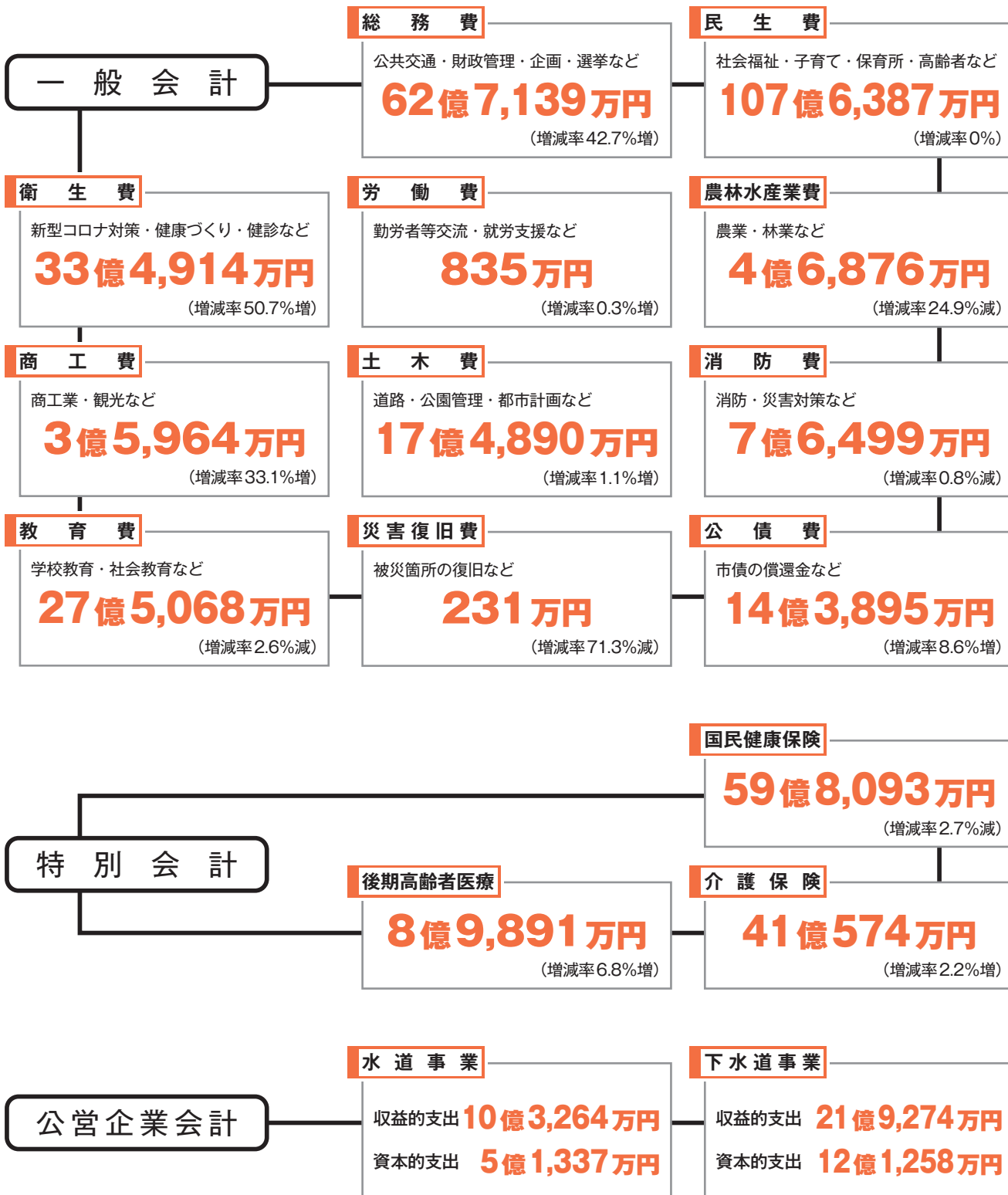
歳入 **408億5,260万円** (前年度より22億9,555万円の増)

歳出 **391億1,843万円** (前年度より29億2,446万円の増)

実質収支 **15億6,684万円の黒字**

歳出から見る古賀市

(千円以下四捨五入、増減率は前年度との比較)



(各表中の構成比については、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります)



# 令和4年度 古賀市決算

一般会計

歳入 **297億2,288万円**

歳出 **281億3,286万円**

実質収支：14億2,269万円の黒字

主な歳出と、資料に基づいた質疑・回答を報告します。

## 総務費

公共交通維持・確保事業費

1億2034万円

【質疑】A-オンデマンドバス運行に関する評価と課題は。

【回答】

評価としては、令和4年10月に花鶴、日吉、美明地区において運行を開始。地域説明会や試乗会を実施して周知を図り、新たなサービス形態のデマンド型交通を導入できたことは、今後の地域公共交通を考える上でのモデルになると考える。利用者増に向けて、利便性の向上およびさらなる周知が必要であることが課題。



【質疑】デジタル化推進事業費

603万円

【質疑】業務効率化の進捗、評価は。

【回答】

RPAによる繰り返し作業の自動化や、WEBアンケートシステムを活用した入力・集計業務の省力化など、システムを導入・活用することで、効果が高いと思われる業務から着実に効率化を図ることができている。「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」をめざして、「スマホおたすけ窓口」を庁舎内に設置し、多くの人に利用していただいた。（利用した参加人数は延べ307人）

## 民生費

子どもの誕生祝い事業委託

263万円

【質疑】事業実績、評価と課題は。

【回答】

配布者数は401人。赤ちゃん用品を詰め合わせた「うまれてきてくれてありがとうBOX」が「たからばこく」を赤ちゃんが生まれた世帯に配布し好評を得ている。

【質疑】ヤングケアラー日常生活支援委託

3万円

【質疑】利用実績、周知啓発は。

【回答】

3世帯に支給決定を行い、1世帯が利用。食事の準備や掃除、乳児の世話などを支援。訪問介護事業所、訪問介護ステーション、小・中学校や高等学校、保育園等に対し、ヤングケアラーの定義や実態等について周知。また、気になる家庭に訪問し、事業の説明を行った。



※古賀市は、令和3年度をもって、住宅新築資金等貸付事業特別会計を廃止し、令和4年度に一般会計に統合しました。

衛生費

地球温暖化防止対策推進事業費  
7万円

質疑  
実施した事業は。

回答

「うちエコ診断」の実施、九州エコファミリー応援アプリの活用促進、KOGA環境ひろば、市民向け環境講座、市職員の省エネルギー行動の促進と公共施設の設備の省エネルギー運用、公民連携プラットフォームづくりに向けた企業等の連携、市内事業者のCO2可視化システム導入試行等を行った。

新型コロナウイルス感染症  
自宅療養者等生活支援委託  
6万円

質疑  
事業内容、利用者数は。

回答

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者や濃厚接触者のため、自宅待機を行う人の中で、希望者に対し、期間中の買い物やごみ出しの代行を行った。利用世帯数は、20世帯。

労働費

就職相談窓口委託  
770万円

質疑  
利用実績、就労実績は。

回答

相談件数は1851件。就労実績は253人。  
(正規雇用5人 非正規雇用199人)

農林水産費

新規就農者育成総合対策  
経営開始資金補助金  
450万円

質疑  
評価と課題は。

回答

新たに3人の新規就農者の確保・育成が図られた。うち2人は観光農園を経営しており、地域の農業の多様化や消費者理解の促進、地域活性化に貢献することが期待される。課題としては、近年、肥料や燃料等の資材価格が高騰し、経営を圧迫していることから、関係機関と協議を行い、対応策を充実させていくことが重要。

商工費

エリアマネジメント支援委託  
1485万円

質疑  
事業実績と評価は。

回答

JR古賀駅西口エリア活性化を実現していく体制整備として、令和3年度に設立されたまちづくり会社の株式会社ユンダブルデーの自立化に向けた支援。また、活性化が持続するための活動拠点として、旧音楽教室をリノベーションしたテナントミックス型のまちの食交場「るるる」の整備支援や、旧理髪店を書店に改修する支援など実施。

燃料費高騰対策  
運送事業者等支援金  
6553万円

質疑  
評価と課題は。

回答

経営が困難なタイミングでの経営支援につながった。



土木費

古賀駅周辺整備事業費  
3942万円

質疑  
整備の進捗と評価は。

回答

JR古賀駅東口周辺整備の実現にあたり、「JR古賀駅東口周辺地区まちづくりガイドライン」を策定。まちの将来像や空間形成の方針、具体的な空間デザインのあり方、それらを実現するためのルールを示すことができた。



消防費

防災体制強化事業費  
5614万円

質疑  
事業内容と成果は。

回答

「指定緊急避難場所としての使用に関する協定」を締結した自主防災組織に対して、緊急避難場所を開設する際、必要となる備品等の購入費補助制度を整備。なお、令和4年度中に協定を締結した自主防災組織はない。

教育費全般 27億5068万円

【質疑】  
児童生徒数と今後の推計ならびに学校施設の活用検討の状況は。

【回答】

〔児童生徒数と今後の推計〕

令和4年5月1日現在の児童生徒数は、小学校が3597人、中学校が1729人。今後の推計は、小学校は令和6年度を境に減少に転じ、中学校は令和8年度まで増加傾向となっている。

【学校施設の活用検討の状況】

現有施設を有効に活用し学習環境を確保するほか、余裕教室が発生する場合には、大規模改修工事の際に、地域開放室として整備するなどの活用策を検討。



就学援助費 7967万円

【質疑】  
小・中学校別の支援者数は。

【回答】

小学校613人  
（年度途中開始116人）  
中学校308人  
（年度途中開始53人）  
今年度96人拡大。

電子図書館クラウド使用料 66万円  
電子書籍コンテンツ使用料 160万円

【質疑】

購入数、全体数、実績、成果は。

【回答】

購入数445タイトル。全体数3838タイトル。貸出数2900タイトル。電子図書館ログイン数6614回。電子書籍の収集は紙媒体の書籍を補完し、資料の選定を行った。



## 賛成討論 × 反対討論 （今回は一般会計・賛成討論のみでした）

賛成

森 真希

AIオンデマンドバスの利用促進、事業実績の向上。病児保育事業補助では利用の平準化や新設の検討。妊娠、出産、乳幼児支援事業のメディア啓発事業の充実。公園遊具の撤去と判定された物についての対応は、地元住民や子どもたちの声を十分聴きとり対応。教育費では就学援助の基準が変更され96人の児童生徒に拡充されたことを評価する。放課後子ども教室での支援態勢の充実を求める。

賛成

平木 尚子

コロナ禍においても、新型コロナウイルス感染症関連の主な事業についても、物価高騰対策や経済的支援も行われた。特に運送業者に対しての燃料費の支援は本当に喜ばれた。子育て世帯に対して子ども誕生祝いや、ヤングケアラー日常支援などにも力を入れていただいた。経済的に不安定な時期に安心して生活できる取り組みが認められ、賛成。

賛成

大賀 文子

医療的ケアが必要な児童の受け入れ態勢を整備するなど、子ども施策が充実した。ヤングケアラーのヘルパー派遣事業は、キヤッチアップが難しいが継続を期待する。在宅で人工呼吸器を使用している障がい者・児および難病患者の災害対策に、非常用電源の助成を開始した。地域づくりアドバイザー派遣事業に、地域活性化を期待。子どもと人権をまもる視点で、古賀市の運営を認めた。

賛成

奴間 健司

【評価】実質収支黒字、海津木苑建設、古賀北中大規模改修工事、コロナ・物価高騰対策【指摘】▼重点事項の明確化▼各事業の効果測定目標値明確化▼市民満足度調査の実施▼決算報告書の改善▼健康経営に基づく市民・子ども・職員の健康課題の把握と目標値設定▼職員のやる気と力量アップ▼徹底▼路線バス補助金大幅増の回避・オンデマンドバスの活用徹底▼決算審査での指摘事項の来年度予算編成への反映。



**問** 職員全体の健康課題の把握が必要ではないか

**答** その必要性も含め考える必要がある

奴間 健司

**議員** 職員健康診査委託425万3552円の結果、職員の健康課題は何か、全体の把握が必要ではないか。

検査項目ごとに職員に伝えており、全体として緊急的対策が必要な状況ではない。全体の把握については必要性も含め考えるべきかと思う。

**議員** 2019年に文教厚生委員会で見察した尼崎市は、職員健診結果から健康実態や予防可能な疾病を分析し、優先すべき保健指導対象者を明確化。繰り返し保健指導を行い改善結果を出している。このような取り組みが必要ではないか。

最も重要なのは、結果を受け取った職員が適切な行動をおこすこと。公務員は一般の人以上に行動すべき立場にある。プロである委託先はしっかりやっていただいており、そこが緊急対策が必要な状況ではないと判断している。その対応で足ると考える。主体性は不足しておらず、

**市長** 委託先任せではない。健診結果を読み解き、個別対策を打つためには保健師の配置が必要ではないか。

職員にはプラスかもわからないが投資が増える。個々の公務員の努力で乗り越えられないか慎重な検討がいる。

健康経営を標榜するなら健康課題の把握、具体的対策、目標値・期限の明確化が必要だ。しっかりと取り組んでいく。

職員健康診査委託・資料要求の回答(一部)

	2022年度	2021年度
健診受診者数と受診率	509人 98.6%	502人 98.6%
HbA1cとLDLの基準越え割合	個別に把握していないため、算出できません。	
保健指導の件数	19件	27件
健診結果から把握できる健康課題	健康診断の受託機関から確認している状況としては、他の団体等と比べて健診結果に大きな差はないとのことでした。	
要精密検査対象者数	150人	152人
要精密検査受診者数	93人	75人
医療機関受診が必要となった職員数	61人	53人

3割以上が要精密検査か要治療

決算審査特別委員会 委員長報告

委員長 松島 岩太

決算審査特別委員会の審査に際し、市長、副市長、教育長をはじめ関係部課長の出席を求め、決算の説明や請求した資料を基に、9月15日から延べ5日間審査を行いました。

一般会計の審査概要としましては、過去最大規模の決算認定であり、市政運営の現状に鑑み、さらなる決め細やかな取り組みを求める意見が多数上がっております。具体的な施策においては、職員健康診査委託、公共交通施策としての路線バス運行補助金やAIオンデマンドバスについて、物価高騰対策等生活支援事業費、疾病予防・早期発見事業のさらなる充実、有害鳥獣対策や海岸松林の保全、燃料費高騰対策運送事業者等支援金や雇用奨励金、特産品等PR委託やエリアマネジメント支援委託、教職員ストレスチェック委託、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセ

ラー、クロスパルコが指定管理、産業施策のさらなる充実等、広範多岐にわたる意見、提言がなされております。最少の経費で最大の効果が得られるよう、執行部におかれましてはさらなる努力、工夫を求めらるるものとあります。採決の結果、「令和4年度古賀市一般会計決算の認定について」から、「令和4年度古賀市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について」まで6議案は、全て委員全員の賛成をもってこれを決定しております。



令和5年 第3回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和5年8月29日～9月27日

号数	議案名	結果	今井公一	結城弘明	中野敦史	古賀誠視	森真希	秋吉智紀	村松謙二	福崎トビオ	平木尚子	松島岩太	伊藤康義	大賀文子	大隈慶太郎	奴間健司	秋山隆哉	井之上豊	紙谷由香	森本義征	渡孝二	
9	令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	債権の放棄	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	専決処分の報告（交通事故に係る損害賠償）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	古賀市子ども医療費の支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	令和5年度古賀市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	令和5年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	令和5年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	令和5年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	令和5年度古賀市水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	令和5年度古賀市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	令和4年度古賀市一般会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	令和4年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	令和4年度古賀市後期高齢者医療特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	令和4年度古賀市介護保険特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	令和4年度古賀市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	令和4年度古賀市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	財産の無償譲渡	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	財産の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	糟屋郡公平委員会委員の選任	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	糟屋郡公平委員会委員の選任	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	糟屋郡公平委員会委員の選任	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	健康保険証廃止の中止を求める意見書の提出	否決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	消費税インボイス制度の延期・見直しを求める意見書の提出	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 -は欠席 議員は議席番号順 ■は議員提出議案

46号  
議案

## 古賀市子ども医療費の支給に関する 条例の一部改正

子ども医療費の自己負担分を全額支給する対象を  
18歳まで拡大するため条例の一部を改正する。

令和5年10月より0歳から就学前までの子ども医療費の無償化が始まった。これまで入院での負担額500円/日、通院は1,200円/月（小学生）1,600円/月（中学生）の負担額を令和6年4月より福岡都市圏で初めてとなる、18歳（18歳に達する日以後の3月31日）までの子ども医療費（入院、通院も含む）を無償化。



付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

主な  
審議

第3回  
定例会  
(10月29日～10月27日)

主  
な  
審  
議

59号  
議案

## 財産の無償譲渡

昭和20年に発令された政令の規定により古賀市に帰属した土地(8535.42㎡)を鹿部行政区に無償譲渡するもの。今後の土地利用については行政も協力しながら行政区内で検討していく。

付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

60号  
議案

## 財産の取得

業務の効率向上のため、古賀市職員情報系端末の入れ替えを行う。

500台以上使用している市職員のパソコンの5～7年経過している半数程度に入れ替えを行う。

付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

64号  
議案

## 健康保険証廃止の中止を求める 意見書の提出

提案理由：マイナンバーカードと健康保険証を一体化させ現行の健康保険証を廃止する政府の方針について、健康保険証が廃止されればマイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となり、国民の命が脅かされることになるため。

本会議  
賛成少数  
否決

65号  
議案

## 消費税インボイス制度の延期・ 見直しを求める意見書の提出

提案理由：政府が本年10月から導入した消費税インボイス制度が、現在の免税事業者や個人事業主、フリーランス、個人タクシー、小規模農家等広範な人々の事業継続に困難をもたらすことになるため。

本会議  
賛成少数  
否決

61号～63号  
議案

## 糟屋郡公平委員会委員の選任

城戸 清壽 氏 安部 政明 氏 尾畠 弘典 氏



# 令和5年度3回目となる補正予算 物価高騰へのさらなる対応

一般会計補正予算（第3号）

## 11億9,978万3千円の追加

補正予算  
(GENDOU)

第3回  
定例会

### 子育て世帯経済的支援事業費

粉ミルクや紙おむつ等の価格高騰に直面する子育て世帯への経済的支援策。

0歳児から2歳児の保護者に子ども1人あたり1万円のギフトカードを配布。

(1,554万1千円)

### 子どもの医療費無償化実現のための こども医療システム改修委託

子育て世帯への経済的支援。令和6年4月からの18歳までの子どもの医療費無償化実現に向けてこども医療システム改修を行う。

(289万1千円)

### AI オンデマンドバス運行支援委託

「のるーと古賀」の利用促進のため、地域住民や利用者のニーズの聞き取りや関係事業者との意見交換を行い、ミーティングポイントの増設および運行エリアの拡大に伴うもの。

(136万4千円)

### 観光・物産・情報発信推進委託

市内の魅力ある観光資源を活かし、コト消費をはじめストーリー性のある観光へと発展させる。観光資源を組み合わせた周遊バスツアーを実施。

(354万4千円)

### 物品等修繕料

児童・生徒1人に1台のパソコン端末を支給しているが、予想以上に多くの端末で基本ソフトウェアの不具合や液晶画面の破損などが発見されたため。

(536万4千円)

本会議  
賛成全員  
可決

# 令和5年度 特別会計・公営企業会計補正予算

## 国民健康保険

**7,134万8千円の追加**

財政調整基金積立金の追加  
職員人件費の増

## 後期高齢者医療

**258万2千円の減額**

保険料等負担金の減  
過誤納金還付金の増等

## 介護保険

**8,715万7千円の追加**

介護保険給付費準備基金積立金の追加  
一般会計繰出金の追加等

## 水道事業

(収益的支出) **609万4千円の増**

(資本的支出) **87万1千円の増**

## 下水道事業

(収益的収入) **266万円の増**

(収益的支出) **747万8千円の増**

(資本的支出) **248万5千円の増**

本会議  
賛成全員  
可決

ここが聞きたい！

一

般

質

問

質問席

市民を災害から守る対策は	井之上 豊	11 ページ
子どもたちの体と心を育む施策を	森 真希	11 ページ
①チルドレン・ファーストを進化させ、「子育て支援に手厚い」 「共働き世帯に優しい」古賀市に ②学校給食の無償化を～子どもの生きる権利を守るために ③宮地岳線跡地利用～住民参加と情報共有、桜並木は保存を	今井 公一	12 ページ
公有財産の積極的な利活用を	秋吉 智紀	12 ページ
市民の命をまもる防災を	大賀 文子	13 ページ
自治会の在り方・行政の支え方	伊藤 康義	13 ページ
教職員の働き方改革と勤務時間の変更について	大隈 慶太郎	14 ページ
鳥獣被害の現状とこれからの対策について	秋山 隆哉	14 ページ
①地域で安心して生活するための支援の充実について ②古賀市の観光客誘致について	平木 尚子	15 ページ
子ども特定健診の早期実現を～ハードルを乗り越えて～	奴間 健司	15 ページ

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。  
一人30分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。  
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。  
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、  
インターネットで  
視聴できます





井之上 豊  
(公明党)

## 市民を災害から守る対策は

**答** 雨水路のしゅんせつや法面の補強等検討

**議員** 市内の被害は把握しているのか。

**市長** 気象警報などの情報に基づき市災害警戒本部を設置、情報の把握に努めた。市災害警戒本部を廃止の後は、各所管で被害状況を把握し庁議等で情報を共有。被害の状況、原因、その対策、また支援策は。

**市長** 今回の豪雨による主な被害は河川の護岸崩壊、道路路肩の崩壊、倒木、農道・林道への土砂流入、林道の洗堀、低い地域での浸水が発生。原因は、想定を超える雨量で、側溝や水路などで雨水処理が間にあわず被害が発生した。対策は、雨水路等のしゅんせつや道路法面の補強など検討する。支援策は、災害の程度によるが、古賀市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づく支援のほか、国・県による災害見舞金や貸付の支援があると認識。

**議員** 古賀市総合防災マップはいざと

いう時に役に立っているか。

**市長** 記載内容は、非常持出品・備蓄のリストや防災情報収集の方法、ハザードマップなど、平時から確認し活用することを前提としている。避難指示の対象区域や自宅周辺の被害想定を確認するため、災害が発生する恐れがある場合も活用できると認識。

**議員** 今回で市民の防災意識の向上は。

**市長** 一概に断言できないが、自分事と捉え意識向上があったと思う。

**議員** 災害ボランティアの状況は。

**市長** 事故無く全員無事に帰ってきた。

古賀市総合防災マップ



森 真希  
(山海会)

## 学校給食の残食の対応は

**答** 10230kgほど、たい肥化しよう

**議員** 学校給食の食品ロスや残食にどのような対応をされているか。

**市長** 調理を工夫し、廃棄が少なくなるよう努める他、残食や廃棄物はたい肥化し有効活用に努めている。

**議員** 学校給食の残食の状況は。

**給食センター長** 令和4年度の小・中学校で1日当たり230kgほど。

**議員** 食品ロス対策として休校の際に福岡市ではパンを格安で販売している。このような工夫も必要ではないか。

**市長** 残食を減らすには「好き嫌いく食べる」ことも基本だと思う。

**議員** 牛乳の廃棄も多い、子ども食堂などと連携してはどうか。対策として久留米市は子ども食堂の冷蔵設備などの補助をされている。参考にしてはどうか。

**給食センター長** 食品ロス対策には有効だが衛生上の問題もあるため難しい。

**議員** あすなる教室の子どもたちにも

給食を提供してはどうか。

**教育部長** 検討していないが難しい。

**議員** 放課後子ども教室は「地域住民が中心となつて進める」として、ボランティアに頼るだけでなく支援者へ経済的支援も検討すべきではないか。

**青少年育成課長** 見守り料などは委託料に含め支払っている。

**議員** 放課後子ども教室と学童との連携ができていない所もある、人材育成の考えは。

**青少年育成課長** 子どもの居場所づくりに研修会等も積極的に行う。

### 子どもたちの声

学校給食への子どもたちの声

**食べる環境**

- 【小学5年 女子】 給食時間の音楽がうるさくておしゃべりできない
- 【小学5年 女子】 食事時間が短い、ご飯に牛乳は合わない
- 【中学1年 男子】 教室が4階で配膳に時間がかかり食べる時間が足りない

**メニュー**

- 【小学1年 男子】 酢の物が多い
- 【小学5年 女子】 冷凍ミカンが多い
- 【中学2年 男子】 メニューの組み合わせが良かった

**その他**

- 【小学5年 女子】 余ったご飯捨てているのっていいないな
- 【中学2年 男子】 残食が多く気になる、捨てているのか





今井 公一

## 子育て支援、共働き世帯に優しい古賀市に

### 答 対話と交流の実践で住民の手に政治を

議員

子育て支援を手厚くした自治体では人口が増え、税収も増えている。0歳からの保育料を無料にすることは極めて効果的だと考えるがどうか。

市長

保育料を完全に無償化している自治体も一部あることは承知しているが、本市においては保育施設的大幅な拡充や保育士の確保が容易でない実情、財政への影響を考慮すると完全な無償化の実現は非常に困難。

議員

小・中学校の学校給食を無償にする自治体が482に広がった。子どもの生きる権利、育つ権利を守るために無償化は急務と考えるがどうか。

教育長

保護者の経済的負担の軽減策につながるかと理解するが、本市の財税運営全体を踏まえた上で、学校設置者としての責任をしっかりと果たしていく。

議員

西鉄宮地岳線跡地利用について

宮地岳線跡地に桜並木公園を



市長

古賀市の計画案が地元で生活している住民にとって必ずしも良いものとは限らず、押し付けになっていないか。一連のプロセスに住民が参加してきたか。「桜並木は保存を」という声が多いがどう考えるか。

西鉄跡地を歩車分離した道路構造にすることにより、生活道路を通過する車両が減り地域における歩行者の安全が確保される。桜などの植栽については、交通の安全性や維持管理における周辺住民の理解等踏まえ考える。



秋吉 智紀  
(市民クラブ)

## 公有財産の積極的な利活用を

### 答 中長期的なまちづくりを考慮しながら検討

議員

公有財産は固定資産税などの負担が不要であるため、資産保有に要するコスト意識が民間企業に比べて低いのではないかと、いつ頃をめどに、どのように利活用したいのか。もしくは売却をしていくのか。

市長

中長期的なまちづくりを考慮しながら利活用を検討していく。

議員

留学寮跡地に関して、利活用が難しいのは理解しているが、人々がくつろげるスペースやゼロカーボンシティ宣言のもと、松林に戻していくといった考えはないか。

市長

海岸松林の保全という観点から利活用し、市民が関わられるような仕組みがあれば良いと思う。旧文化財収蔵庫に関して、公共施設の在り方も含め、中長期で考えている。

議員

近隣では戸建の新築が建っている。売却した際の試算結果

早急な判断と決断を求める



議員

他市では公有財産有効活用基本方針があるが、古賀市はあるか。そういった方針は作っていない。これまでの各施設に5〜6年間の未使用期間があった。機会損失を意識しながら市政運営を。

管財課長

早急な判断と決断を求める



大賀 文子  
(山海会)

## 市民の命をまもる防災を

**答** まずは自分の命をまもる努力を

**議員** 近年、各地で豪雨災害が多発している。市と、自主防災組織の連携は。

**市長** 市内46行政区全てに自主防災組織が設立され、共助の中心として期待し、支援や協力を行っている。

**議員** 古賀市総合防災マップには、必要情報とともに、自主防災組織、避難行動要支援者についても記載され一家に一冊必要。

**総務課長** 全戸配布し、転入者に市民国保課で配布、紛失等は希望により総務課でお渡しする。

**議員** 人工透析等、医療が必要な避難者は。

**福祉課長** 福岡県災害救護マニュアルに沿って支援する。福岡県災害時透析メールに登録も有効。

**議員** 自宅介護の高齢者への支援は。

**総務課長** 避難所に来るのは難しく、あらかじめ主治医やケアマネジャーに相談していただきたい。

**議員** 自主防災組織も地域も、高齢化と不況で共助の限界を迎えている。市長の考えは。

**市長** 防災は、自助、共助、公助が基本だが、支え合いが難しい時はみんなで考える。要支援者もその家族も周りに伝えておくなどの備えを。まだできることはあると考える。

**議員** 日常から、ご近所と仲良くしておくことも防災の視点で大切。

透析患者さんは災害時透析メール登録を



伊藤 康義  
(自由クラブ)

## 自治会の在り方・行政の支え方

**答** 自治会問題は行政も重要課題とする

**議員** 自治会加入者が減少傾向にあるが、行政の課題と対策は。

**市長** 防災面や地域社会のニーズに対し、十分に答えられなくなることに懸念される。「地域づくりサポート制度」など財政的支援と地域課題の解決策を共に、考えている。

**議員** 加入者が減ると、誰にどんな影響があるか。

**市長** 社会的孤立や地域のつながり低下やごみの問題・清掃活動・防犯・防災の活動が停滞し、行政がそれらの活動を担うと、市民が財政的な負担を負うことになる。また、地域課題の要望が届かず改善施策の遅れとなる。校区コミュニティについての現状と方向性は。

**市長** 現状は8校区中、6校区で組織され、「校区まちづくり活動事業交付金」として財政支援し、情報共有として定例会や活動に職

**議員** 員が参加し、市民が活動に理解・関心を示して自らがまちづくりの担い手として活動できるよう、持続的に支援する。

**議員** 時代が変化しても、人と人をつなぐ自治会は大切なものであり、もしもの時の危機管理に大きな地域の力となる。行政も仕事の環境ではなく、古賀市を愛する人として、財政面だけでなく行動的、精神的支えを持続的に行い、市民が古賀でよかつたと思える活気あるまちづくりに期待する。

自治会は地域のパワー







大隈 慶太郎

教職員の働き方改革と勤務時間の変更について

答 働き方改革の効果があると感じている

議員 本市教職員の働き方改革の必要性をどのように捉えているか。

教育長 日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対し、効果的な教育活動を行うことができるようになることは必要であると捉えている。

議員 教職員の休憩時間を昼休みの30分と放課後の15分に分割しているがその理由は。

教育長 放課後の時間を生み出したこととことです。15分というのが自由に使えるという意見もいただいている。

議員 古賀東小学校の保護者宛ての手紙では、働き方改革ではなく、熱中症対策のために下校時間を15分早くすると説明されているが。

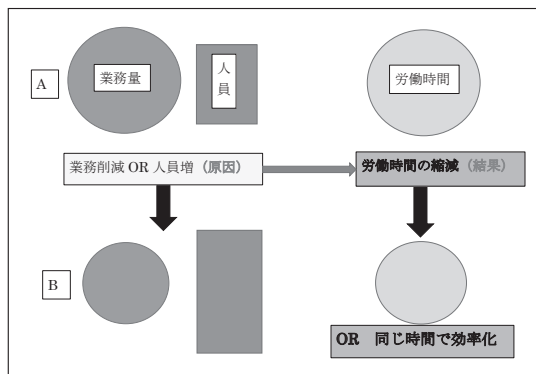
教育長 屋外あるいは体育館で遊ばない等の理由で、放課後早く帰すという考えに至ったのではないかとその対策を夏以降も実施すると

受け取られる文面では、説明不足と言わざるを得ない。また、熱中症対策ならば、現在粕屋区で最も短い夏休みを延長すべき。

教育長 児童生徒が基本的に帰った後は、なぜ働き方改革になるのか。教職員の休憩時間を分割することが、なぜ働き方改革になるのか。

議員 単なる時間操作ではなく、業務削減という原因をつくって結果を出していただきたい。

文化省の指針を要約すると



秋山 隆哉 (自由クラブ)

鳥獣被害の現状とこれからの対策について

答 緩衝地帯を里山に整備する方針

議員 古賀市における鳥獣被害対策の現状は。

市長 鳥獣の捕獲については、糟屋郡猟友会古賀支部に委託し、古賀市鳥獣被害防止計画に基づき、農作物被害の減少を目的として、イノシシやシカの捕獲を実施している。

議員 鳥獣被害による年間の被害額は。

市長 年度によつてばらつきはあるが、令和4年度は、577万4千円

議員 鳥獣被害対策における、近隣市町村との連携はどうなっているか。

市長 イノシシやシカなどの鳥獣は、市町村の境界をまたいで広域的に移動するため、近隣市町で時期を合わせて、イノシシ・シカの捕獲を実施している。

議員 これからの鳥獣被害対策は。

市長 現在取り組んでいる直接捕獲による対策や、農地に寄せ付けな

いたための対策を着実に実行していく。それに加え、有害鳥獣対策の新たな取り組みとして、緩衝地帯(バッファゾーン)を里山に整備する方針を決めた。

議員 今年度は、福岡県がセンサーカメラを使った野生動物の生息状況調査を実施。

議員 数値で表されること以外の事由にも目を向け、現場の声を聞き、引き続き鳥獣被害対策に取り組んでいただきたいと切に願う。

箱罠に捕獲されたイノシシ







平木 尚子  
(公明党)

## 古賀市の観光誘致について

**答** 引き続き誘客促進に取り組んでいく

**議員** 観光発信の強化についてと、その効果は。

**商工政策課長** 掲載するだけでなく、届けたい人に届けられ、本市に来たくなるなど心に響くこと。本市の注目度が上がり、来ていただくきっかけになることが期待できる。

**議員** 古賀市の観光地を結ぶルートなどが紹介されているものはあるか。

**商工政策課長** そのようなパンフレットはない。ただ、行き方や所要時間などが情報として届けられると、計画を立てやすくなるなど、本市に来てみようという機運が高まる。そのために補正予算で提出した「観光ブランディング支援」などにより磨きをかけたい。市のイベントや地域の取り組みなど連携して取り組めないか。

**商工政策課長** イベントなどとの連携による相乗効果は大きく、連携していくことは重要であり、今後

**議員** の取り組みに盛り込んでいく。観光誘致の意義や効果についてどう考えるか。

**市長** 地域活性化に資する。多くの地域資源を多様な価値観でニーズを引き寄せるための仕掛けを実現していくことが誘致の意義であり地域活性化、持続可能性につながる。

**議員** 地域で安心して生活するための支援の充実。公的な通知や市からの情報について音声コードを用いては。今後、市の発行者への音声コードの記載について、導入を検討したいと考える。

## 古賀おでかけガイドマップ



叔間 健司  
(友和)

## 子ども血液検査で健康課題の把握と対策を

**答** 現在の学校検診で適切に対応できている

**議員** 子どもの健康課題の認識は。生活習慣の乱れに伴う肥満、視力低下が課題と認識している。

**市長** 学校検診の結果、他市町と比較して顕著な傾向は見当たらない。子ども健康チャレンジを策定中でこれを基盤として家庭や学校と連携して取り組みたい。重症化リスクの高い児童生徒へのアプローチに力を入れたい。

**議員** 児童生徒の血液検査の意義をどう認識しているか。

**市長** 健康状態を知る手段の一つとして意義はあるが、学校保健安全法に基づく検診の機会を生かしながら重症化リスクの高い者への健康相談や食事指導が有効と考える。7月に視察した香川県三木町では血液検査に基づき判定しているが正常範囲は20%台。ヘモグロビンA1C基準値も把握し自己管理力向上をめざしており、変化も追跡している。古賀市で

**議員** も必要ではないか。学校検診でリスクを発見し適切に対応しており、これで足る。

**市長** 18歳までの子ども医療費無償化に8千万円必要とのことだが子どもの血液検査は456万円できる。取り組むと至らなかつた。額の問題ではないというのが実態。現状の取り組みで成果を何をもつて検証するか。

**教育部長** 学校検診の結果、医療受診勧奨の件数で見えてくると思う。研究会を重ね提起し続ける。

## 古賀市も全国の先進事例を学んでほしい

子どもの血液検査をしている主な自治体		
自治体名	対象	担当課
福岡県宇美町	小5、中2	こども未来課子育て支援課
宮崎県	小4、中1	県健康づくり協会 市町村教育委員会
山口県下関市	小5、中1	教育委員会学校保健給食課
香川県三木町	小4、中1	教育委員会教育総務課
兵庫県尼崎市	小4、中2	健康福祉局健康支援推進担当
新潟県新潟市	小4、中1	教育委員会保健給食課
東京都葛飾区	小4、中1	教育委員会
茨城県取手市	小4、中2	教育委員会保健給食課
長野県松本市	小4、中2	教育委員会学校教育課

# 総務

## 委員会

7月26日

委員長 秋吉 智紀  
 平木 尚子  
 副委員長 松島 岩太  
 大賀 文子  
 紙谷 由香  
 森本 義征

### デジタルリテラシー

#### 向上事業

**問** アナログ規制の見直し内容について。

**答** 条例などの規制があることにより、民間事業者や市民が新しいデジタル技術などの活用ができない懸念があるので、見直しを行うもの。デジタル庁と協力し、モデル自治体と一緒にさまざまな条例においてデジタル技術が採用可能なかを検討している。

**問** 今後の取り組みは。

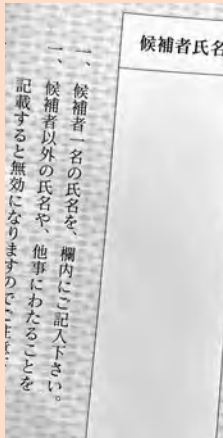
**答** 月に1回程度ワーキンググループとして、オンラインでデジタル庁と委託業者と一緒にミーティングを行い、モデル自治体の取り組み結果をまとめよう進めている。

デジタル推進課

### 選挙総括について

若年層に向けた取り組みについては、選挙割の実施やアプリ、ウェブサイト上の広告欄に選挙の日程を表示し周知啓発。

投票終了時間が18時から20時までになったことで、その2時間の投票者数は全体の10%くらいであった。



### 災害対応について

避難場所の開設状況や避難実態状況の評価については、避難指示発令を市民自身が把握できていないという意見があり、出前講座等で周知啓発を行っている。

総務課

### コミュニティ活動推進事業

**問** 地域づくりサポーター制度の内容について。

**答** 令和4年度からの制度で、地域がそれぞれ抱える課題を解決するための話し合いの場に、地域づくりアドバイザーを派遣している。アドバイザーは「よかネット」という、まちづくりの専門的な団体。事前の打ち合わせや具体的な意見交換から方向性の検討やとりまとめのサポートを行う。

**問** コミュニティ活動補助金の概要について。

**答** 市民活動団体等を支援することで、地域を盛り上げ活発化していくことを目的とする。



(参考) 小野校区でのワークショップの様子

まちづくり推進課

### 公共交通と共創のまちづくり

**問** 西鉄バス(古賀市内線)運行実績について。

**答** 令和4年度から5年度は利用人数等がほとんど変わっていない。今後、筵内、小竹の地域協議会の結果を踏まえ、ニーズのある所へ便数を増やしたりルート変更などの改善を行っていききたい。

**問** 共創まちづくり推進委託について。

**答** 新たな担い手を発掘し、事業者同士の共創が生まれるなどを目的とした取り組み。体験型イベントの実施やプレイヤー同士が情報交換し、新たな事業を立ち上げるリビングラボの企画運営を行う。

**問** まちづくり実証実験委託とは。

**答** 子どもが市内企業でレポーターを体験し仕事の理解や興味を得られるイベントを実施。

経営戦略課

# 文教厚生

## 委員会

7月19日  
7月25日

委員長 森 真希  
古賀 誠視 大隈 慶太郎  
副委員長 今井 公一 秋山 隆哉  
奴間 健司

### 切れ目のない子育て支援

**問** 子どもの誕生お祝い事業は、令和4年度の配布率は100%という事だが、出産後どの時期に配布しているか。また配布内容については。

**答** 配布時期は誕生から2〜3か月頃に配布。コスモス広場で利用できる3千円分の商品券と、子育てグッズを合わせて1万円程度を配布。

**問** こども家庭センターが来年4月に設置されるが、具体的にどのような進めしていくのか。

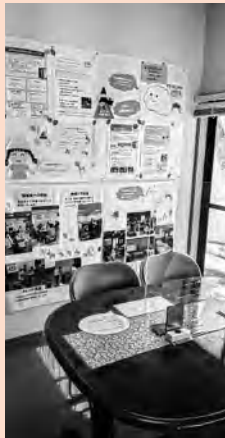
**答** 国からの情報も把握し、子育て支援課の体制を活かしながら、国が求める子ども家庭センターの機能を整えるために詳細な検討を進めていく。

子育て支援課

### 地域包括支援センター

**問** 今までの1カ所から3カ所になったことによる効果と課題について。

**答** 効果としては、高齢者の身近な相談窓口として各中学校に1カ所ずつ設置したことで、高齢者本人および地域の人や、民生委員等からの相談も増えていること。課題は、身近にあることを知らない人も多いため、周知啓発は引き続き行う必要がある。  
**問** 相談体制の強化については。



福祉課

### クロスパルコが水泳授業

**問** 水泳授業が年3回は少ないのではないかと。

**答** 1回当たり50分の水泳授業を3回と考えており、学校での水泳授業は20分から25分ぐらいと考えると、昨年度までの学校での水泳授業のおよそ6回分に相当するため、少ないとは認識していない。



学校教育課

### 子どもたちの居場所作り 放課後子ども教室

**問** 実施形態が委託、市直営、自主運営とあるが今後どのように行っていくのか。

**答** 市としては地域の住民でグループを作っていただけ、そこへの委託を進めていきたい。

**問** 学童保育所と放課後子ども教室との連携について。

**答** 学童保育所の子どもも、放課後子ども教室に参加できるように連携を進めており、放課後子ども教室を小学校の敷地内で行っているところは、学童保育所との連携の体制はできている。



青少年育成課



# 市民建産

## 委員会

7月28日  
8月2日

委員長 結城 弘明  
中野 敦史 村松 謙二  
副委員長 福崎 トビオ  
井之上 豊 伊藤 康義

### 古賀市の現状を分析する

古賀市立地適正化計画策定業務委託の入札結果と都市計画道路野口髭園線の廃止について報告がありました。

**問 立地適正化計画策定業務委託とは具体的にどういったことをするのか。**

**答** 各部署の関連計画の整理、住民のニーズの把握、都市の課題分析とその解決方法を整理し検討していく。また、立地適正化計画の策定が、国交省系補助事業の採択要件となっているため、今後、JR古賀駅周辺の開発等インフラ整備等を行うにあたり補助金の活用を見込んでいくこと、これらの事業を計画に書き込んでいく。

都市整備課

### 若い世代による

### 駅前の活性化

JR古賀駅西口エリア活性化事業では、古賀競成館高等学校のハロウィンイベント、福岡工業大学の西口エリア人流調査、看護大学との連携事業を予定。

**問 競成館高校との連携事業は今後も継続していくのか。**

**答** 高校生は自ら考え企画し実行することで学べ、商店街の人も元気をもらえるという事業であり、継続することが活性化の第一歩。

**問 福岡工業大学の調査データをどう活用していくのか。**

**答** 時間、移動方向、属性等のデータによりニーズを把握し、今後の事業展開に役立てられる。また、大学生と地域の交流も活性化の要素がある。

商工政策課

### マイナンバーの広がり

令和5年6月末迄の総人口、マイナンバーカード交付枚数・コンビニ交付サービス利用実績について報告がありました。

**問 マイナンバーカードの誤交付などはないか。**

**答** 現在古賀市においては発生していない。

**問 現在75%の交付率であるが、残りの25%についての把握は。**

**答** 何らかの形で申請が難しい人、そもそも持ちたくない、不信感がある等、理解がなかなか進みにくい状況だと考えられる。申請したいができない人に、申請のお手伝いをどうしていくかがテーマ。



市民国保課

## 常任委員会報告

### 市民税、法人税の状況は

現年分の市税調定状況、市税調定額の推移について報告がありました。

**問 過去の推移を見ると、個人の市民税は右肩上がりだが、法人の市民税は右肩下がりが。その要因は。**

**答** 個人は、コロナ禍からの景気の緩やかな回復の影響が大きいのではないかと法人については、同様に回復しているところだが、原材料やエネルギーに係る費用の高騰などで、収益が悪化している企業もあることなどが要因として考えられる。

**問 軽自動車税について、販売目的である軽自動車への課税を免除している自治体があるが、近隣自治体の状況も含め把握をしているか。**

**答** 近隣市町村と情報交換は行っているが、新規に商品車の課税免除を行っているという市町村はないと聞いている。

都市整備課

## JR古賀駅周辺開発調査 特別委員会

「まちづくり基本計画」「整備基本計画」「まちづくりガイドライン」を基に、古賀駅舎・駅前広場の整備、交通施策、安心安全な都市構造、定住化促進、公園の機能整備についてを審議し、現場視察を行い、総合的な調査に取り組んでいます。



## 古賀浄水場のあり方調査 検討特別委員会

将来にわたり安定した水道事業を持続させるため、古賀市水道事業の現状や、災害発生時の水の状態、将来推計、水道料金等、老朽化が進む古賀浄水場のあり方を総合的に調査研究し、浄水場の改廃についての方向性を示します。



## 一部事務組合議会報告

議長 渡孝二

### 北筑昇華苑組合議会

令和5年5月30日、第2回臨時会開催。組合議員構成に変更があったため議長の選任が行われ、互選の結果、渡孝二を選任。

また、監査委員には清水郁雄氏が選任されました。

令和5年8月9日、第2回定例会開催。令和4年度決算認定を審議。歳入総額は約4億1000万円、歳入の主なものは使用料および手数料約2億6800万円や有価物売却益約7400万円。歳出は約3億3700万円、歳出の主なものは職員人件費や維持補修工事約600万円等。賛成全員で認定。また、令和5年度補正予算約1000万円（職員人件費等）が計上され、賛成全員で可決。

### 古賀高等学校組合議会

令和5年5月30日、第2回臨時会開催。組合議員構成に変更があったため議長の選任が行われ、互選の結果、渡孝二を選任。

また、教育委員会委員には木村眞由美氏を任命、監査委員には識見者の清水郁雄氏、組合議員から松井和行氏が選任されました。

令和5年8月21日、第2回定例

会開催。令和4年度決算認定を審議。歳入総額は約5億9600万円。歳出は約5億8700万円、歳出の主なものは職員人件費などの教育費約5億500万円。賛成全員で認定。令和5年度補正予算約330万円（公債費等）が計上され、賛成全員で可決。

令和5年5月29日、第2回臨時会開催。組合議員構成に変更があったため議長の選任が行われ、互選の結果、渡孝二を選任。

### 玄界環境組合議会

また、監査委員には、組合議員から松井和行氏が選任されました。

令和5年7月14日、第1回臨時会開催。組合議員構成に変更があったため正・副議長の選任が行われ、互選の結果、議長に渡孝二、副議長に松井和行氏が選任されました。

### 粕屋北部消防組合議会

また、監査委員には、識見者の清水郁雄氏、組合議員から平木尚子が選任されました。

そのほか、組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例および火災予防条例の一部を改正する条例が上程され、賛成全員で可決。

## 陳情

5年陳情6

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情

陳情者 明るい福岡県を作る会

高橋 幸子

5年陳情7

健康保険証の存続を求める意見書採択についての陳情書

陳情者 福岡県保険医協会

会長 林 裕章

令和5年度

### 湾岸議会議長協議会 議員研修会

10月6日(金)

福岡市健康福祉総合センター

講演のテーマは、地方議会が直面する課題である、議員に係る請負に関する規制の明確化および緩和に関する「地方自治法の一部改正についてと、その対応」を、全国市議会議長会企画議事部法制主幹の本橋謙治氏を講師に迎え、古賀市・福津市・新宮町の議員を対象とした研修会に参加しました。

# 議場見学会

## 舞つ子アンビシヤス広場



そして子どもたちは議場に入り本番さながらの本格的な議会が始まりました。

1. ランドセルをやめて軽いリュックにしたほうがいいか
2. 小学校での私服をやめて制服にしたほうがいいか
3. 給食をやめてお弁当にしたほうがいいか

の3つの議案でした。

8月17日に舞つ子アンビシヤス広場議場見学会があり、舞の里小学校の子どもたち6人が見学にきてくれました。  
はじめは子どもたちの自己紹介。みんな緊張しながらも「好きな食べ物」「好きなこと」をマイクを使って話してくれました。その後はプロジェクターを使い「議会ってなに？」のお話があり、次に4階フロアにある委員会室など各部屋の見学。

議会が始まってすぐは緊張や恥ずかしさがあったようですが、途中からはみんな手を上げしっかりと自分の意見や思いをマイクで



堂々と話してくれました。

そして議員席の賛成・反対のボタンを押し裁決を行った結果は…すべての議案で反対全員により否決となりました。



終わった後、子どもたちから「議場に入れて嬉しかった」「楽しかった」「発表の時に顔がスクリーンに大きく映って恥ずかしかったけど、たくさん話せてよかった」「たくさんのことを知れてよかった」「市のことを決めることができ自信がもてた」と嬉しい言葉を聞かせてもらいました。  
子どもたちが議会を身近に感じ、関心を深めることができた議場見学会でした。

連絡先 青少年育成課  
092-942-1172

第3回定例会の傍聴者は50人でした。ありがとうございます。  
第4回定例会は11月28日（火曜日）開会予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



### 令和5年 古賀市議会 第4回定例会会期日程（案）

会期 11月28日～12月15日 18日開

日	曜	会議名
11/28	火	本会議（初日）
30	木	本会議（2日目）
12/1	金	常任委員会
4	月	常任委員会
5	火	常任委員会
6	水	補正予算審査特別委員会
7	木	JR古賀駅周辺開発調査特別委員会
8	金	古賀浄水場のあり方調査検討特別委員会
11	月	一般質問
12	火	一般質問
13	水	一般質問
15	金	本会議（最終日）

開議時刻は全て9時30分～

注) 会期日程は、11月24日（金）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。  
◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。  
◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。  
（本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です。）  
◎請願書の締切りは11月21日（火）午後5時です。

古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、タブレットにも対応しています。



### 編集後記

「万物の生命をいづくし、秋の美りに感謝する」五所八幡宮秋季大祭放生会、季節の移り変わりを感じながら、参拝いたしました。

議会報編集委員会の仕事も今回で2回目。手探りながらも少しずつ議会報の作り方が分かってきたような気がします。1期目の委員も多い常任委員会だからこそ、先輩方がこれまで築いてこられた議会報をもとに、より多くの市民の皆さまに読んでもらえるような仕組みづくりをしなければなりません。他市での取り組みなども真摯に学び、分かりやすい議会報を作っていきたいと思えます。（秋吉）

### 議会報編集常任委員会

- 委員長 福崎トビオ
- 副委員長 秋吉智紀
- 委員 森真希
- 委員 平木尚子
- 委員 秋山隆哉
- 委員 紙谷由香

